

課 名	課 長 等	総括主査・係長	主 査	課 員	会計年度任用職員
出納室	会計管理者 播 磨 美 代				古川 美津子
総務課	下山 達 也 後志広域連合派遣 畑 谷 順 治 (再任用常時勤務)	中 村 倫 子	山 口 靖 二	主 任 主 事 補 加 藤 宏 和 松浦 あかり	沖 村 沙 希
余別支所 入舸支所		支所長事務取扱 (下山 達 也)			吉 田 眞 治 鎌田 千賀雄 天 満 英 一 大 坂 裕 子
企画課	平 畠 恵 治	木 田 光 昭 高 野 晴 美 大 地 奈 津 子		主 事 補 小 場 大 希	能代谷 仁美
税務課	西 川 源	杉 野 信 一 成 田 守 寿 赤 石 孝		主 任 金 子 昌 弘	
住民福祉課	加 藤 浩 文	工 藤 紀 子 原 尚 美 佐 藤 理 長谷川 訓		主任保健師 主任保健師 主任保健師 准 看 護 師 技 師 主 事 補 主 事 補 主 任 (山 崎 美 穂) 野村 こづえ 後 藤 沙 耶 入江 美紀子 篠原 ちあき 成 田 麻 花 関 谷 紫 音 坂 野 宏 行 (再任用短時間勤務)	藤 木 幸 子 的 場 律 子 下 澗 仁 (鎌田 承 平) 地域おこし協力隊 片 岡 朋 成
地域包括支 援センター	所長 (加 藤 浩 文)	(原 尚 美)		主任技師 主任保健師 准 看 護 師 主 任 技 師 石 岡 公 淑 山 崎 美 穂 (入江 美紀子) 東 出 卓 也	
商工観光課	松 谷 太 志	丹 場 康 雄		主 事 補 大 坂 航 太	鎌田 承 平
産業交流雇用 推進対策施設	施設長 (松 谷 太 志)			主 任 菊 谷 祐 二 (再任用常時勤務)	能代谷 教雄 藤丸 利架子 細 矢 明 杉 野 千 晴 荻 野 衛 林 直 樹 北 島 絹 子 上山 津奈子 藤 田 昌 子 小 原 広 美
農林水産課	岩 間 雅 紀	総括主査事務取扱 (岩 間 雅 紀) (梶 浦 正 寛)	槇 野 弘 樹	主 任 主 事 補 成 田 政 裕 ※北海道派遣職員 高 橋 伶 司	集落支援員 水 鳥 純 雄 地域おこし協力隊 管 井 妙 子 地域おこし協力隊 皆 川 公 信 地域おこし協力隊 中 川 千 明 地域おこし協力隊 田 村 航 平 安 宅 紀 博 (沖 村 沙 希)
建設課	上 田 玄 洋	船 田 健 三 古 川 賢 一		主 任 技 師 石 田 弘 美 (再任用常時勤務) 佐 藤 善 紀	
びくに保育所	所長 石 田 由 紀 子			主任保育士 主任保育士 主任保育士 保 育 士 嶋 田 真 希 野 宮 香 織 (藤 村 崇) 斎 藤 未 希 子	馬 場 晶 子 船 田 やよい 西 田 靖 江 野 澤 千 尋 藤 田 有 子 馬 場 陽 富 美 南 方 峰 葉 谷 内 潔 江 (戸 松 紀 子)
みなと保育所	所長 (石 田 由 紀 子)			主任保育士 菊 谷 奈 津 美	戸 松 紀 子 (船 田 やよい) (西 田 靖 江) (野 澤 千 尋) (藤 田 有 子)
子育て支援 センター	所長 (石 田 由 紀 子)			主任保育士 藤 村 崇	(船 田 やよい) (西 田 靖 江) (野 澤 千 尋) (藤 田 有 子) (馬 場 陽 富 美) (南 方 峰 葉) (谷 内 潔 江) (戸 松 紀 子)
国民健康保 険診療所	管理者 高 橋 壮 之 祐 事務局長 小 澤 俊 一		事務係長事務取扱 (小 澤 俊 一)	主任看護師 主任看護師 佐 藤 しほり 船 田 美 子	成 田 麻 子

【積丹町教育委員会】

教育長 十 河 昌 寛

※氏名の（ ）は兼務・併任

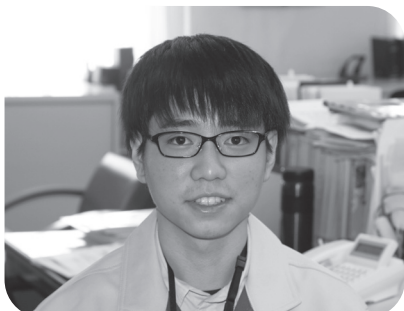
課 名	課 長 等	総括主査・係長	主 査	課 員		会計年度任用職員
学校教育課	山 崎 英 幸	下 山 リ な		主 任	高 橋 野 亜	特別支援教育支援員 植 松 勉 特別支援教育支援員 嶋 田 耕 司 特別支援教育支援員 横 山 佳 子
生涯学習課	(山 崎 英 幸)		社会教育主事・文化財保護主事 阿 部 剛	主 任	(白 濱 孝 俊) (再任用常時勤務)	生涯学習推進アドバイザー 山 本 光 廣
B & G海洋センター	所長 (山 崎 英 幸)		社会教育主事・文化財保護主事 (阿 部 剛)	主 事	佐々木 秀徳	
学校給食センター	所長 (山 崎 英 幸)	(下 山 リ な)		主 事	(佐々木秀徳)	
				主 任	白 濱 孝 俊	

【議会・その他の行政委員会等】

積丹町 議会事務局	事務局長 長谷川 優史	庶務兼議事 藤木 和歌子			職務級別職員数	特 別 職	2	
積丹町監査 委員事務局	事務局長 (長谷川 優史)	(藤木 和歌子)				課 長 等 (うち再任用)	13 (1)	
積丹町選挙 管理委員会	書記長 (下 山 達 也)	書記 (中 村 倫 子)		書記 (加 藤 宏 和) 書記 (松浦 あかり)		総 括 主 査	17	職員計 62 人 (特別職除く)
積丹町 農業委員会	事務局長 (岩 間 雅 紀)	庶務兼農地兼振興計画 梶 浦 正 寛				主査・係長	3	
						課 員 (うち再任用)	29 (4)	
						会計年度 任用職員	42	総計 104 人 (特別職除く)

＝積丹町の新しい顔＝

～新規採用職員と美国駐在所の新しいお巡りさんをご紹介します！～



農林水産課 主事補 **高橋 伶司**
(仁木町出身 18 歳)

『4月1日、農林水産課に配属されました。早く業務を覚えて、町民の皆さんのお役に立つよう努力したいと思います。見かけた際は気軽に声を掛けてください。よろしくお願いします!』と抱負を話していました。



美国駐在所 **太村 圭秀**
警部補 (51 歳)

4月1日付けで美国駐在所に太村圭秀警部補(51歳)が着任しました。3月まで、弟子屈署の標茶駐在所に約2年半勤務し、単身赴任中です。『早く積丹町に慣れて皆さんの安心・安全を守りたいと思います。話し好きなので気軽に話してください。』と明るく抱負を話していました。

コロナに
負けない！

～4都府県に3度目の『緊急事態宣言』発令～ いつ終わる？ “コロナ” との闘い

■政府は、変異型ウイルスなどによる感染者数が再拡大したため、4月5日から1都2府7県に対し「まん延防止等重点措置」を、それぞれ適用しました。

さらに、感染拡大が続く東京都や大阪府、京都府、兵庫県の4都府県に対し4月25日から5月11日までの期間、3度目となる「緊急事態宣言」を発令し、また、新たに愛媛県に「まん延防止等重点措置」を適用しました。

■鈴木道知事は4月23日、新規感染者数が増加傾向にある札幌市から全道への感染再拡大を防ぐため、4月24日から5月11日までの間の札幌市との不要不急の往来自粛の徹底など、緊急事態宣言に準じた特別対策を決定し道民へ協力要請を行いました。ゴールデンウィークには人の往来が多くなるため、『新北海道スタイル』の実践と励行でコロナから“命”を守りましょう。

北海道の状況

【累計感染者数】23,270名

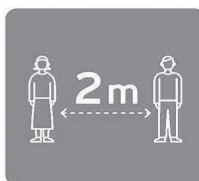
【死者数】837名

－ 4月25日現在（道公表）－

コロナに
負けない！

連休中も『新北海道スタイル』
の励行を！

道民の皆さまへ



いまは、
きよりとって



手を洗おう



咳エチケット



換気をしよう



北海道コロナ通知システムと
接触確認アプリ(COCOA)を
活用しよう



3つの「密」を
さげよう



テイクアウトや
デリバリーも



オンラインを
上手に使おう



いまは、小声で



正しく理解し
思いやりある行動を

はじめよう、つづけよう。「新北海道スタイル」

【問合わせ先】

役場住民福祉課 TEL 44-2113

- ①配布場所…総合文化センター1Fロビー
- ②配布時間…午前9時から午後5時まで
(月・土・日祝日除く)
- ③配布数量…1回2リットルまで
(事業所の方は増量可。洗浄済のペットボトル等を持参し、除菌剤の表示シールの貼付を！)
- ④使用方法…テーブル、ドアノブ及び手すり等にスプレーで吹きかけ、10秒後に清潔なタオルで拭き取ってください。

”感染症に強い積丹町に！”
無料「次亜塩素酸水」の活用を！
～事業所の皆さんもぜひ～

北後志感染制御センター

「余市協会病院」でPCR検査

●検査予約

月曜日～金曜日に予約受付（当日不可）

●検査当日に持参するもの

本人確認書類
(運転免許証、健康保険証など)

●検査費用

北後志5町村の住民や企業・団体は
1人2万円、それ以外は同3万円。

【問合わせ先】

余市協会病院 TEL 0135-23-3126

自分の命を守る・家族の命を守る・社会の命を守る

まちの日記帳



交通安全を願う活動に感謝 商工会女性部「愛の鈴」寄贈

3/24

町商工会女性部（山本恵子部長・37名）が交通安全の願いを込めて手づくりした「愛の鈴」と「交通安全のお守り」を今年も山本部長、河岸副部長が役場を訪れ、寄贈しました。

同会の「愛の鈴」の寄贈は、昭和53年から43年間続けられています。

この日は155個が松井町長へ手渡されました。新入学児童や保育所園児一人ひとりに「愛の鈴」と美国神社での祈祈を受けた「お守り」が贈られました。



わが子の成長を実感！ びくに・みなと保育所入所式

4/1

4/2

びくに保育所入所式が1日に、みなと保育所入所式が2日に行われ、それぞれ27名と6名の園児が入所しました。

元気に登園した園児たちは式典で、保育所長のお話と先生の紹介の後、園児一人ひとりの紹介が行われ、照れながらも元気な返事が響いていました。

お父さん、お母さんたちの、かわいいわが子の成長に顔をほころばせ、嬉しそうに見守っている姿が印象的でした。



今年の安全運航を誓って！ 水中展望船「安全祈願祭」

4/5

梯積丹観光振興公社（杉山覺代表取締役社長）の水中展望船「ニューしゃこたん号」の安全祈願祭が行われ、同社役員と社員など15名が玉串を捧げ4月10日からの無事故運航を祈りました。

杉山社長は「今も新型コロナウイルスの感染が全国的に多く確認されていますが、感染防止対策を徹底し、これから迎える観光シーズンに備えていきたい。そして安全運航を第一に頑張っていきたい。」と力強く挨拶されました。

